

**個別事業(取組)評価**

事業No.	34	施策の柱への位置付け	柱④ 心の教育改革	
事業名称	ふるさと教育推進事業		担当課	生涯学習課
			当初予算額(千円)	2,247
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	2,235

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 住んでいる地域の歴史や自然についての関心が低く、地域の行事への参加が少ない。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査結果により現状を分析しているため、数値的には正確に把握できている。
		【要因】 ◆ 地域での人間関係が希薄である。 ◆ 住んでいる地域の歴史や自然について学習する機会が少ない。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 平成17年度文部科学省委託調査「地域の教育力に関する実態調査」より分析を行ったので特定できている。
②	目標(Outcome)	◆ 地域で専門性や広域性を活かして活動している団体と連携して次の2点に取り組む。 ①地域の歴史について学ぶ機会の提供 ②子どもたちの地域での活動や交流の推進 ◆ 県内の小学5、6年生が、土佐の偉人である坂本龍馬の生い立ちや功績を知る。 ◆ 小学校用「龍馬検定」 提出者数1,000名	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 各団体による活動についての達成目標であるため、団体の現状から妥当な目標設定であったと考える。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ◆ ①龍馬学十講座、龍馬ゆかりの地探訪、出前講座等を実施した。 ②お遍路さんのお接待や高知県青年大会文化部門に小中学生・高校生が参加し、県外の方や地域住民と交流した。 ◆ 社会科や生涯学習課のカリキュラム教材として取り上げ、長期にわたって授業を実施した学校もあった。 ◆ 小学生用「龍馬検定」の提出者数:1,399名
		【検証(比較)方法】 ◆ 委託先団体からの実績報告書及び団体事務局への聞き取り	
③	実施内容(Input・Output)	◆ <土佐史談会実施計画> ①龍馬学十講座 ②龍馬ゆかりの地探訪 ③高校出前講座 ◆ <高知県連合婦人会実施計画> 奈半利町、香南市、土佐市の婦人会が中心となって、地域の子どもたちに広く参加を呼びかけ、お接待袋やメッセージなどを制作し、その作品により子どもたちと一緒にお遍路さんを接待する。 ◆ <高知県青年団協議会実施計画> 高知県青年団文化部門において、青年や保護者、地位のお年寄りから指導を受けた子どもたちが神楽などを発表する。 ◆ 坂本龍馬の生い立ちや功績等を学習するための冊子(「坂本龍馬を知っちゃう?」)を作成し、県内すべての小学5年生に配付し、各学校にその冊子の活用を働きかける。 ◆ 小学校用「龍馬検定」を作成・取組を働きかけることにより、子どもの興味関心を高め、冊子の活用機会増加を図る。	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ◆ <土佐史談会> ①龍馬学十講座 のべ874名が参加 ②龍馬ゆかりの地探訪 東部地区:南国市、香南市、香美市の史跡探索に39名参加 西部地区:土佐市、高知市の史跡探索に42名参加 ③高校出前講座 県内2校で実施 ◆ <高知県連合婦人会> 奈半利町:26番札所金剛頂寺にて36名参加 香美市:28番札所大日寺にて116名参加 土佐市:36番札所清龍寺にて106名参加 ◆ <高知県青年団協議会> 高知県青年大会文化部門において、土佐清水市の中学生・高校生・婦人会が書道パフォーマンス・楽器演奏・活動報告等を行った。 ◆ 「坂本龍馬を知っちゃう?」を7,500部作成し、県内すべての小学5年生に配付し、各学校にその活用を働きかけた。 ◆ 小学校用「龍馬検定」を作成し県内すべての5・6年生に配付。1,399名がチャレンジし、829人が合格した。合格者には認定証を発行した。
		目標達成度 <b>B</b> 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 ◆ 効果を上げている団体への助成を継続して行い、郷土史の学習や子どもたちと地域住民が交流できる機会を提供していく。 ◆ 「坂本龍馬を知っちゃう?」の小学5年生への配付と小学生版「龍馬検定」の実施を継続し、郷土の偉人や歴史学習への関心・意欲を高めていく。
総合評価と今後の方向		【総合評価】 ◆ 県外の方や地域住民との交流を深めることができ、世代間交流の良い機会となった。 ◆ 郷土の歴史や偉人の功績を学ぶことによって、多くの児童が郷土に愛着や誇りを持つことができた。	